

## 【工夫のポイント】

- 畑地かんがい施設の整備により計画的な作付・出荷が可能となり、**九州をはじめ関西・関東地域にも販路を拡大**。
- 農作業マニュアルの作成、G-GAP手法を用いた生産工程管理やSNSを活用した作業時間管理の徹底など**農業経営の「見える化」を実践**。
- やる気のある人材を積極的に受け入れ、**地域の雇用を拡大**。

## 基盤

### 安定的な用水確保による計画的な作付けによって担い手農家の経営規模が拡大

- 水源(輝北ダム)の確保及び畑地かんがい施設の整備によって、安定的な用水確保の下での計画的な作付けが可能となり、**経営規模の拡大が促進**。
- 基盤整備を契機に、自治体やJAの連携により、「**畑地かんがい営農ビジョン**」を策定し、受益農家と関係機関が一体となって営農を推進。



### 基盤整備 (H元年～)

### 【整備前】

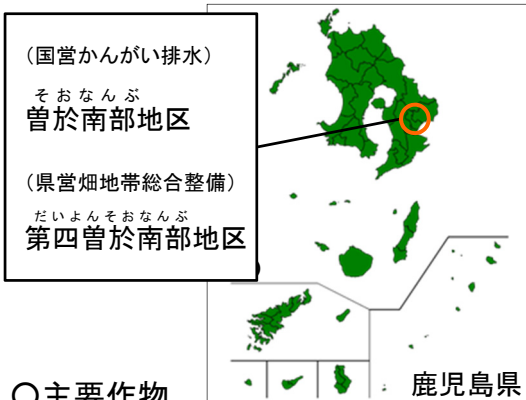
取水量が不安定な地下水を水源とした**営農**であったため、かん水量が制限されており、地域農業の発展に向けては、安定的なかんがい用水確保が求められていた。

- ・整備前は、地下水を小規模なタンクやため池に貯水し、ポンプから配水していた。



## 【取組地域の概要】

- 位置  
し ぶ し し おおさきちよう  
鹿児島県志布志市・大崎町



- 主要作物  
・葉ねぎ、大根、キャベツ
- 主な支援施策  
・国営かんがい排水事業(H元～H20)  
・県営畑地帯総合整備事業(H12～)  
・産地パワーアップ事業(H28～)

## 生産現場

### 営農作業の省力化を通じた経営の効率化

- 自走式散水器具(スマートレイン)の導入により、**かん水作業の省力化**を図るほか、SNSを活用した時間管理の徹底など、**経営の「見える化」を実践**。



## 加工・流通

### 計画的な出荷による販路拡大と6次産業化

- 出荷責任者を配置して専属で市場開拓に取り組み、九州のみならず**関西や関東にも販路を拡大**。
- 新たな高収益作物として**導入が進む大根の加工センターを新たに増設**するなど、6次産業化にも積極的に取り組む。



## 担い手

### 担い手法人による新規就農支援と雇用拡大

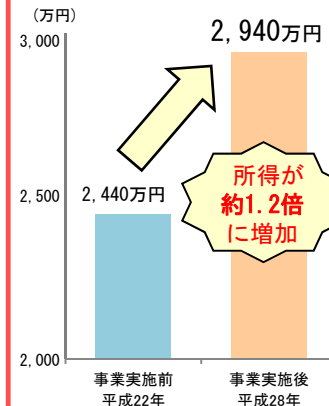
- 農業大学生の研修受け入れや卒業後の雇用等により**新規就農者を支援**
- 規模拡大とともに雇用者数も拡大(**常時雇用14名(H14)→35名(H28)**)



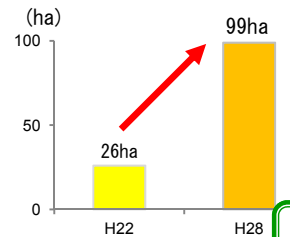
### 経営規模の拡大と6次産業化による法人の農業所得額の増加

- 事業完了による通水を契機に、農業法人の経営規模が急拡大し所得額も向上。現在建設中の大根の選果場と加工品のライン導入等により、**益々の所得額向上も期待され、地域の農業をリード**している。

#### 【農業法人の所得額推移】



#### 【農業法人の作付面積推移】



【出典：大崎町役場調べ】